



F I B E R

The Society of Fiber Science and Technology, Japan

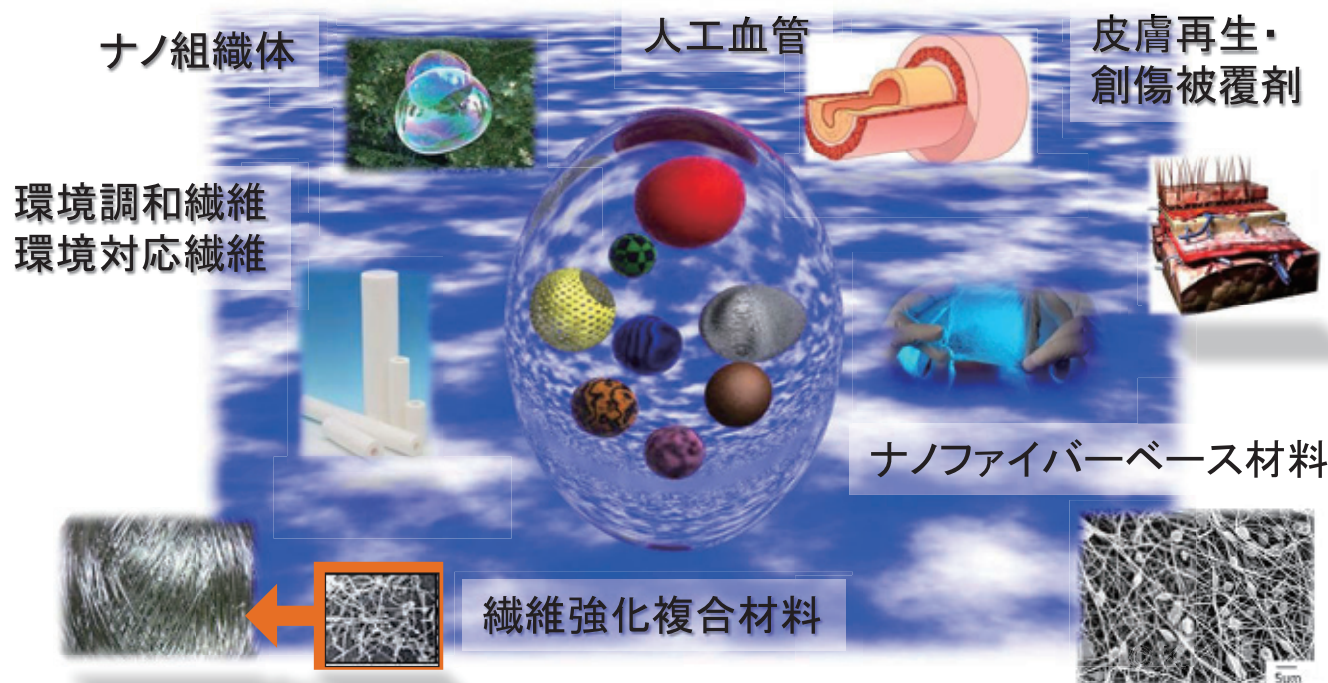
繊維学会誌

||| 繊維と工業 ||| Reviews and News

||| 報 文 ||| Original Articles



福井大学大学院工学研究科 繊維先端工学専攻



平成25年度改組でカリキュラムを一新！
“**繊維マインド**”を持ち、研究・開発において多方面の分野に
対応できる人材を育成します。

専攻の取組事業

文部科学省特別経費「これからの社会を支える高機能・高性能繊維の研究開発
一次世代繊維産業プラットフォームの構築」

文部科学省 大学間連携共同教育推進事業

「繊維系大学連合による次世代繊維・ファイバー工学分野の人材育成」

(信州大学・京都工芸繊維大学・福井大学)

繊維先端工学講座

- 繊維材料科学
- 繊維機能科学
- 繊維・成形加工
- バイオメテック工学
- テキスタイル工学

繊維先端工学専攻

<http://fiber.eng.u-fukui.ac.jp/>

入試情報

http://www.u-fukui.ac.jp/~nyushi/admission_sect/eng/index.html

連携講座

- 繊維産業工学分野
(一般社団法人 福井県繊維協会)



平成25年度入学の
社会人特別選抜学生
には、特別奨学金制度
を実施しています

Kanaya Lab

金谷研究室 京都大学化学研究所 高分子物質科学研究領域



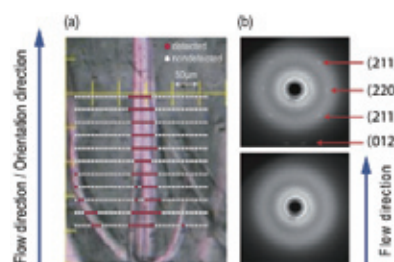
高分子の精密構造解析と新規材料の創製

プラスチックや繊維に代表される高分子は、作成方法により鉄よりも硬い材料として用いることができます。当研究室では、高分子構造の精密解析や高次構造生成の機構を探っています。それより得られる知見を基に、高分子構造をナノメートルからマイクロメートルにいたる広いスケールにて制御し、新規高分子材料の創製を目指しています。

高分子高次構造制御（ナノ構造制御）

結晶構造

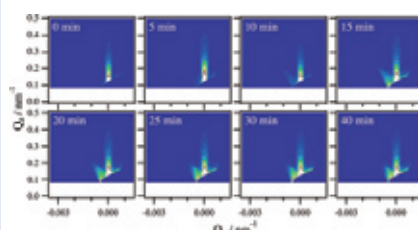
シシケバブ前駆体の内部構造



結晶化誘導期
液晶化過程

拘束系の構造

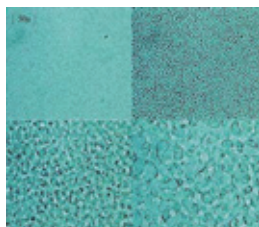
高分子ブレンド薄膜の
相分離と脱濡れ



解離基イオンの導入

高分子電解質

高分子電解質の相分離過程

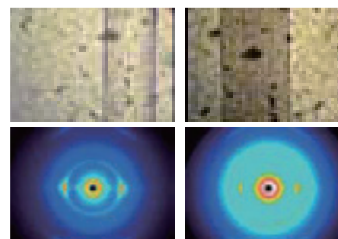


高分子構造
精密解析
精密制御

ハイドロゲル薄膜

複雑系の相分離

医療用材料研究



電解質ゲル



金谷研究室 京都大学化学研究所

TEL : 0774-38-3142 / FAX : 0774-38-3146

✉ zaibutu2@sci.kyoto-u.ac.jp

<http://www.sci.kyoto-u.ac.jp/~kanaya2/index.html>

素材は、
クルマの未来を変える。



わたしたちはクルマをつくる会社ではない。

わたしたちがつくるのは、素材だ。

走りと軽量化を高次元で両立させる、

カーボンファイバーボディ。

カーエレクトロニクスの高性能化に欠かせない高機能フィルムや樹脂。

そして、環境に優しいバイオマス素材。

東レが提案する、次世代型コンセプトEV TEEWAVE™

このクルマは、

新素材という希望の集合体だ。



希望は素材に託されている。東レ

繊維学会誌

平成 25 年 7 月 第 69 巻 第 7 号 通巻 第 808 号

目 次

繊維と工業(Reviews and News)

- 【時 評】 繊維科学のこれまでの発展とこれからの展開…………… 田代 孝二 … P-201
- 【解 説】 ドライプロセスを用いたポリエステル布の高機能化…………… 後藤 景子 … P-202
- 非晶性ポリアクリロニトリルゲルの精密構造解析
- …………… 中野 翔太・富田 直人・松葉 豪 … P-210
- インド更紗の伝播と伝統的模様染め ― 日本とハンガリーの比較 ―
- …………… 羽賀 敏雄・ホルバート・ハンガ … P-216
- 「まわた」の語史と文化誌…………… 新井小枝子 … P-224
- 【連 載】 〈機能紙 7〉
- インテリジェント機能紙、Bio-active Paper…………… 市浦 英明 … P-228
- 〈文化の伝承－祭り－ 4〉
- 「だんじり」の分類学…………… 宮本 英希 … P-230
- 【議 事 録】 一般社団法人 繊維学会 平成 25 年度通常総会報告…………… P-234

報 文(Original Articles)

- 【一般報文】 Development of Actual Dyestuff Wastewater Treatment by Ozone with Carbonaceous
- Materials Produced from Waste Fiber
- …………… Naohito Kawasaki, Hisato Tominaga, and Fumihiko Ogata … 125
- 溶媒抽出および煮沸水処理による毛髪の状態学的構造変化と物性変化
- …………… 天谷美奈子, 澤田 学, 吉田 治彦, 上甲 恭平 … 132
- 【技術報文】 消臭抗菌繊維の介護用品への応用
- …………… 水谷千代美, 矢羽田明美, 白井 汪芳, 築城 寿長, 森川 英明
- 梶原 莞爾, 高橋 勝貞, 重田富美子, 黒澤 宏江, 大塚 千晶 … 141

Journal of the Society of Fiber Science and Technology, Japan

Vol. 69, No. 7 (July 2013)

Contents

[Reviews and News]

〈Foreword〉

Past Development and Future Perspective of Fiber Sciences Kohji TASHIRO ... P-201

〈Review〉

Improvement of Textile Performance of Polyester Fabric Using Dry Process..... Keiko GOTOH ... P-202

Precise Analysis for Amorphous Poly (Acrylo Nitrile) Gels

..... Shota NAKANO, Naoto TOMITA, and Go MATSUBA ... P-210

The Propagation of Indian Sarasa and Transition of Patterned Dyeing :

– A Comparison of Japan and Hungary – Toshio HAGA and Hanga HORVATH ... P-216

On the Word MAWATA : Its Interpretations in History Saeko ARAI ... P-224

〈Series of Reviews for High Performance Papers, Specialty Papers 7〉

Intelligent Functional Paper, Bio-active Paper..... Hideaki ICHIURA ... P-228

〈Series of Cultural Tradition Associated with Festivals 4〉

Taxonomic Study on “DANJIRI – One of Festival Floats” Hideki MIYAMOTO ... P-230

〈Minutes〉

Report of an Ordinary General Meeting (2013)..... P-234

[Original Articles]

〈Transactions〉

Development of Actual Dyestuff Wastewater Treatment by Ozone with Carbonaceous

Materials Produced from Waste Fiber

..... Naohito KAWASAKI, Hisato TOMINAGA, and Fumihiko OGATA ... 125

Changes in Morphological Structure and Physical Properties of Hair after

Solvent Extraction and Treatment in Boiling Water

..... Minako AMAYA, Manabu SAWADA, Haruhiko YOSHIDA, and Kyohei JOKO ... 132

〈Technical Paper〉

Application of Nursing Care Using Deodorant and Antibacterial Fibers

..... Chiyomi MIZUTANI, Akemi YAHATA, Hisanaga TSUIKI, Hideaki MORIKAWA,

Kanji KAJIWARA, Katsusada TAKAHASHI, Tomoko SHIGETA,

Hiroe KUROSAWA, Chiaki OTSUKA, and Hirofusa SHIRAI ... 141

Sen'i Gakkaishi

(Journal of the Society of Fiber Science and Technology, Japan)

Vol.69 No.7

July 2013

CONTENTS OF ORIGINAL ARTICLES EDITION

[Transactions]

Development of Actual Dyestuff Wastewater Treatment by Ozone with Carbonaceous

Materials Produced from Waste Fiber

..... Naohito Kawasaki, Hisato Tominaga, and Fumihiko Ogata ... 125

Changes in Morphological Structure and Physical Properties of Hair after

Solvent Extraction and Treatment in Boiling Water

..... Minako Amaya, Manabu Sawada, Haruhiko Yoshida, and Kyohei Joko ... 132

[Technical Paper]

Application of Nursing Care Using Deodorant and Antibacterial Fibers

..... Chiyomi Mizutani, Akemi Yahata, Hisanaga Tsuiki, Hideaki Morikawa,

Kanji Kajiwara, Katsusada Takahashi, Tomoko Shigeta,

Hiroe Kurosawa, Chiaki Otsuka, and Hirofusa Shirai ... 141

Published by

Sen'i Gakkai (The Society of Fiber Science and Technology, Japan)

3-3-9-208, Kami-osaki, Shinagawa-ku, Tokyo 141-0021, Japan

投稿時の体裁変更のお知らせ

これまで、投稿していただく際にカメラレディー形式に整えていただくことをお願いして参りましたが、今般印刷システムの見直しにより、カメラレディー形式での投稿は必須ではなくなりました。

テキストデータ、図表データを別々のファイルでご用意いただき、図表の差し込み位置が分かるように本文中に示していただければ、ベタ打ちで投稿いただけます。図、写真は jpeg 形式で、表はテキスト情報が抽出可能な word 等で作成してください。その際本文は A4 判に 10.5 から 12 ポイントのサイズで、改行幅は 1.5 行程度に設定してください。

また、図表のレイアウトや大きさなど著者の体裁上のご希望を予めお伝えいただけ、ページ数の見積もりも可能なため、これまで同様カメラレディー形式に整えていただいても結構です。カメラレディーひな形はホームページからダウンロードしていただけます。

投稿の際の負担を軽減することで、より迅速快適に研究成果をご発表いただけるようになりました。今後とも繊維学会誌への積極的なご投稿をお待ちしております。

報文フォーマット変更のお知らせ

平成 24 年 9 月号より、報文の紙面を下記の様に一部変更させていただきました。

1. 和文、英文とも、Corresponding Author を明示するようにしました。
2. 和文の著者名表示方法を英文に合わせ、所属は 1 ページ目左下に記すようにしました。

なお、学会 HP 掲載のファイルは既に新フォーマットに準拠しています。新規の御投稿にはなるべくこれを利用し、投稿カードと共にメール(hobun-submit@fiber.or.jp)に添付してご投稿ください。また、旧フォーマットで受理された原稿の場合、投稿カードの連絡先に記された方を Corresponding Author とさせていただきます。変更を希望される場合は、proof check の際に変更してください。

「報 文」編集委員

Sen' i Gakkaishi, Editorial Board

編集委員長 Editor in Chief	鬘 谷 要(和洋女子大学大学院) Kaname Katsuraya	編集副委員長 Vice-Editor	塩 谷 正 俊(東京工業大学大学院) Masatoshi Shioya
編集委員 Associate Editors	河 原 豊(群馬大学大学院) Yutaka Kawahara	木 村 邦 生(岡山大学大学院) Kunio Kimura	久保野 敦 史(静岡大学) Atsushi Kubono
	澤 渡 千 枝(静岡大学) Chie Sawatari	鋤 柄 佐千子(京都工芸繊維大学大学院) Sachiko Sukigara	高 寺 政 行(信州大学) Masayuki Takatera
	武 野 明 義(岐阜大学) Akiyoshi Takeno	趙 顯 或(釜山大学校) Hyun Hok Cho	登 阪 雅 聡(京都大学) Masatoshi Tosaka
	久 田 研 次(福井大学大学院) Kenji Hisada	諸 岡 晴 美(京都女子大学) Harumi Morooka	山 根 秀 樹(京都工芸繊維大学大学院) Hideki Yamane
	吉 水 広 明(名古屋工業大学大学院) Hiroaki Yoshimizu	和 田 昌 久(東京大学大学院) Masahisa Wada	

The Society of Fiber Science and Technology, Japan (2012&2013)

President T. Hirai (Shinshu University)

Vice-President T. Hori (University of Fukui)

T. Kikutani (Tokyo Institute of Technology)

H. Hoshiro (Kuraray Co.,Ltd)

Member-promoting Officer H. Ogino (Tokyo University of Agriculture&Technology)

Editor "Sen'i to Kogyo" A. Tsuchida (Gifu University)

Treasurers S. Shoda (Tohoku University)

T. Nishimatsu (Shinshu University)

K. Tashiro (Toyota Technological Institute)

K. Miyazaki (University of Fukui)

Y. Tsujii (Kyoto University)

M. Higa (Yamaguchi University)

Planning Officers T. Kanaya (Kyoto University)

Y. Maeda (Toray Industries,inc)

M. Fukui (Asahikasei Fibers Corporation)

開催年月日	講演会・討論会等開催名(開催地)	掲載頁
25. 7. 26(金)	第36回CPD(共通課題)講演会(大阪市・大阪産業創造館)	A7
8. 8(木) ~10(土)	平成25年度第44回繊維学会夏季セミナー 繊維の「グローバルイノベーション」を目指してーThink Globally, Act Locallyー(桐生市・桐生市民文化会館)	A3~4
9. 3(火)	第15回成形加工テキストセミナーー最先端プラスチック成形加工シリーズ第4巻先端成形加工技術Iー(東京都・工学院大学 新宿キャンパス)	A7
9. 5(木) 6(金)	平成25年度繊維学会秋季研究発表会(名古屋市・豊田工業大学)	A5~6
9. 7(土)	2013 公開技術講演会(名古屋市・愛知県産業労働センター)	A7
9. 19(木) 20(金)	第4回基礎先端高分子・繊維研究会(福岡市・九州大学箱崎キャンパス)	A7
9. 20(金)	プラスチック成形加工学会第137回講演会ー樹脂系材料による自動車軽量化の最新動向ー(東京都・工学院大学 新宿キャンパス)	A7
9. 24(火) ~26(木)	日本材料学会第38回複合材料シンポジウム(鹿児島市・鹿児島大学 工学部)	A8
10. 4(金) ~ 8(火)	第10回アジア・太平洋キチン&キトサンシンポジウム 第27回キチン・キトサンシンポジウム(併催)(米子市・米子コンベンションセンター)	A8
10. 21(月) ~23(水)	第63回ネットワークポリマー講演討論会(千葉市・千葉大学 けやき会館)	A8
10. 24(木)	第52回機能紙研究発表会・講演会(徳島県・徳島県郷土文化会館(あわぎんホール))	A8
10. 25(金)	平成25年度工学教育連合講演会ー工学士に期待される学士力とその養成ー(東京都・芝浦工業大学芝浦校舎)	A8
10. 31(木) ~11. 2(土)	第49回熱測定討論会(習志野市・千葉工業大学津田沼キャンパス)	A9
11. 7(木) 8(金)	膜シンポジウム2013ー膜科学の更なる発展:生命科学進歩に果たす膜科学の重要性ー(京都市・京都府立医科大学附属図書館ホール)	A9
11. 11(月) 12(火)	第45回洗浄に関するシンポジウム(東京都・タワーホール船堀)	A9
11. 20(水) ~22(金)	第34回日本熱物性シンポジウム(富山市・富山県民会館)	A9
	繊維学会誌広告掲載募集要領・広告掲載申込書	平成22年6月号
	繊維学会定款(平成24年4月1日改訂)	平成24年3月号
	Individual Membership Application Form	平成24年12月号
	訂正・変更届用紙	平成24年12月号
	繊維学会誌報文投稿規定(平成24年1月1日改訂)	平成25年1月号
	繊維学会入会申込書(維持・賛助会員用)	平成25年5月号
	繊維学会入会申込書(正・学生会員用)	平成25年7月号

「繊維と工業」編集委員

編集委員長 土田 亮(岐阜大学)

編集副委員長 髯谷 要(和洋女子大学大学院) 出口 潤子(旭化成せんい(株))

編集委員 植野 彰文(KBセーレン(株)) 大島 直久(東海染工(株)) 金 翼水(信州大学) 澤田 和也(大阪成蹊短期大学)
高瀬 栄一(三菱レイヨン(株)) 高崎 緑(宮城教育大) 寺本 喜彦(東洋紡(株)) 中西 輝薫(エニチカトレーディング(株))
西田 幸次(京都大学化学研究所) 増田 正人(東レ(株)) 村上 泰(信州大) 八重田 徹(王子ホールディングス(株))
山田 秀夫(帝人(株))

顧問 浅井 恒雄(科学技術ジャーナリスト) 浦川 宏(京都工芸繊維大学大学院)

平成25年度繊維学会主要行事予定

行 事 名	開 催 日	開 催 場 所
平成25年度夏季セミナー	平成25年 8 月 8 日(木)～10日(土)	桐生市市民文化会館(桐生)
平成25年度秋季研究発表会	平成25年 9 月 5 日(木)、6 日(金)	豊田工業大学(名古屋)
繊維の応用講座	平成25年11月 1 日(金)	東工大蔵前会館(東京)

平成26年度繊維学会主要行事予定

行 事 名	開 催 日	開 催 場 所
平成26年度年次大会	平成26年 6 月11日(水)～13日(金)	タワーホール船堀(東京)
創立 70 周年記念事業 (式典・国際シンポジウム)	平成26年 9 月28日(日)～10月 1 日(水)	東京ビッグサイト TFT ホール(東京・有明)

学生会員の皆様へ

日頃より繊維学会へのご参加ならびにご支援を賜りありがとうございます。

近年の急速な情報提供および利用手法の変革に適切に対応するため、本学会でも鋭意情報環境の整備を行って参り、この度一定の環境を整えることが出来たと判断されたため、学会誌の提供方法を冊子体から web 版へ、まずは学生会員様から切り替えさせて頂く事と致しました。

本件は平成 25 年度定時総会で承認が得られましたので、かねてより学会誌会告、ホームページ等でご案内しておりました通り、7 月号からの実施とさせていただきます。

これに伴い、学生会員様には冊子体のお届けを 7 月号より停止させていただきますので、今後は web 版でご覧頂きますようお願い申し上げます。

Web 版では、毎号の表紙、広告、目次、会告等をホームページ学会誌のページから

<http://www.fiber.or.jp/jpn/publication/index.html>

また、繊維と工業の記事、報文の論文につきましては J-Stage のオンラインジャーナルから

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/fiber/-char/ja/>

ご覧頂けます。ただし、J-Stage では繊維と工業の全ての記事と、報文の 3 ヶ月以内の論文につきましてパスワードがないと閲覧出来ないようになっております。パスワードをお忘れの場合は、事務局までお問い合わせください。

Web 版では情報は常にオールカラーで提供され、場所を選ばず情報を取り出していただだけ、若い学生会員様には冊子体よりも便利で快適にご利用頂けるものと期待しております。新しい運用に対しまして、お気づきの点などございましたらご遠慮なく学会事務局までご連絡ください。

今後とも繊維学会では、会員の皆様に正確で新しい情報を迅速にご提供し、会員の皆様に快適にご利用頂けるよう環境の整備に努めて参ります。変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

複写される方へ

本誌に掲載された著作物を複写したい方は、公益法人日本複製権センターと包括複写許諾契約を締結されている企業の方でない限り、著作権者から複写権等の行使の委託を受けている次の団体から許諾を受けてください。

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル

(中法)学術著作権協会

TEL: 03-3475-5618, FAX: 03-3475-5619

E-mail: info@jaacc.jp

著作物の転載・翻訳のような、複写以外の許諾は、直接本会へご連絡ください。

アメリカ合衆国における複写については、次に連絡してください。

Copyright Clearance Center, Inc.

222 Rosewood Drive, Danvers, MA 01923 USA

Phone: 1-978-750-8400 FAX: 1-978-646-8600

平成 25 年度第 44 回繊維学会夏季セミナー

繊維の「グローカリゼーション」を目指して

— Think Globally, Act Locally —

日 時：平成 25 年 8 月 8 日(木)～10 日(土)

場 所：桐生市市民文化会館(群馬県桐生市織姫町 2-5) TEL 0277-40-1500

ホームページ：http://www.kiryu-piif.jp/

交通：JR 桐生駅から 9 分、東武線、新桐生駅から車で 5 分

定 員：300 名

趣 旨：この度、総合テーマとして“繊維の「グローカリゼーション」を目指して—Think Globally, Act Locally—”を掲げ、本年度の夏季セミナーを企画しました。今日、ローカルなイノベーションがすぐに世界経済に影響し、逆に、世界経済との関わりからイノベーションの方向を捉えることが強く要求され、研究開発・生産活動におけるパラダイムシフト、すなわち創造的破壊が求められる時代となりました。本セミナーでは、繊維産業が今後どう進むべきか？学術面だけでなく、経済情勢も話題として取り上げ企画しました。【特別講演】では、まず、文部科学省の科学技術政策からみた繊維研究開発の方向に関する講演を予定しています。次いで、我が国の繊維産業を取り巻く日本 EU 経済連携協定、自由貿易協定に関する講演、さらに、経済に大きな影響を及ぼす「エネルギー」について日本エネルギー学会長から講演が行われます。一方、今回の総合テーマにふさわしい地元の世界企業の活動紹介も予定されています。【分科会セッション】では、今後、繊維産業が発展していく上でキーとなる 6 つの研究・技術開発を積極的に取り上げました。皆様の御蔭をもちまして、最終日まで、濃密なサイエンスを体験できるプログラムが完成しました。また、セミナーだけでなく、群馬の自然・風土と繊維産業を体験していただく機会として【繊維関連施設への視察】を 2 日目の午後に準備しました。こちらも是非、ご参加ください。セミナー期間中に日本最高気温を記録するかもしれませんが、熱く参加者の相互交流を深める場として、是非、本セミナーにご参加くださいますよう、心よりお願い申し上げます。

プログラム：

	時 間	プ ロ グ ラ ム	
	11:00～	受 付 開 始	
第 1 日 (8/8)	13:15～13:25	開 会	
	13:25～14:15	【特別講演 1】科学技術政策及びナノテク・材料研究からみた繊維(仮題) 文部科学省 前田 豊	
	14:15～15:05	【特別講演 2】EPA/FTA の拡大と繊維産業 日本化学繊維協会 鍵山博哉	
	15:25～16:15	【特別講演 3】地域資源を活用した楽しい低炭素社会構築 日本エネルギー学会 宝田恭之	
	16:15～16:50	【特別講演 4】地元で頑張る世界企業の紹介(仮題) 群馬県繊維工業試験場 上原英之	
	17:30～19:30	懇 親 会	
第 2 日 (8/9)	テーマ	「A：炭素繊維」	「B：テキスタイル・ファッション・感性」
	9:15～ 9:50	【A1】 機能性カーボンへの挑戦 —カーボンで低炭素社会を— 群馬大学 尾崎純一	【B1】 カスタムメイドガーメントの将来について 島精機製作所 雑貨 透
	9:50～10:25	【A2】 新規前駆体高分子を原料とする炭素繊維の製造 産業技術総合研究所 羽鳥浩章	【B2】 国際市場におけるアパレル設計の展望 ～3D 着装シミュレーションの活用事例の実演～ ユカアンドアルファ 保利淳／中村恵子
	10:35～11:10	【A3】 炭素繊維複合材料の産業用途展開 東レ 平野啓之	【B3】 群馬県の繊維産業と絹製品開発 群馬県繊維工業試験場 笠原 力
	11:10～11:45	【A4】 自動車炭素繊維複合材料(CFRP)部材の量産技術開発 三菱レイヨン 秋山浩一	【B4】 テキスタイルの材料特性と感性評価 神戸大学 井上真理
	12:30～16:00	繊維関連施設の視察	
	テーマ	「C：エネルギー」	「D：繊維加工」
	16:30～17:05	【C1】 リチウムイオン電池の現状と今後の展開 群馬大学 鳶島真一	【D1】 弱酸性ポリエステルが肌に与える影響 帝人フロンティア 堀川直幹

第2日 (8/9)	17:05～17:40	【C2】 ドコモ・グリーン基地局構想と環境 エネルギー技術の紹介 NTT ドコモ 小宮一公、竹野和彦	【D2】 染色加工におけるマイクロバブルの 利用 都立産業技術センター 榎本一郎
	17:40～18:15	【C3】 電気化学キャパシターと電極材料技 術の展開 太陽誘電 鈴木和昌	【D3】 可溶性羊毛タンパク質の調製とその 応用 群馬大学 瀧上昭治
	18:15～20:45	ポスターセッション・ワインパーティー 於：レセプションホール	
第3日 (8/10)	テーマ	「E：バイオポリマー」	「F：高分子のからみあい」
	9:15～ 9:50	【E1】 ポリ乳酸樹脂の改質技術 花王 武中 晃	【F1】 レオロジーから見た「からみあい」 長岡技術科学大学 五十野善信
	9:50～10:25	【E2】 微生物産生ポリエステルの高強度繊 維化と大型放射光を用いた構造解析 東京大学 岩田忠久	【F2】 粗視化分子シミュレーションによる 「からみあい」の解析 旭化成 青柳岳司
	10:35～11:10	【E3】 量子ビームによるバイオポリマーの 機能化 日本原子力開発機構 玉田正男	【F3】 固体物性から見た「からみあい」 東京工業大学 扇澤敏明
	11:10～11:45	【E4】 フルフルールからのバイオマス C4 モノマーの合成とそのバイオマス炭 素含有率の測定 産業総合技術研究所 国岡正雄	【F4】 成形加工における「からみあい」の 役割 北陸先端科学技術大学院大学 山口政之
	11:45～12:00	閉会・ポスター賞表彰	

参 加 費：

	個人会員	維持・賛助会員	一 般
大学・官公庁	25,000 円	25,000 円	28,000 円
企 業	35,000 円	35,000 円	38,000 円
学 生	8,000 円	—	10,000 円

参加申込み：お申し込みはインターネットよりお願いいたします。

繊維学会夏季セミナーのページ <http://www.fiber.or.jp/jpn/events/2013/summer/index.html>

注)登録の際、繊維学会会員の方は(個人会員、学生会員の方)が必要になります。

会員番号は学会誌送付用封筒に記載されておりますのでご確認ください。

懇親会費：5,000 円 第1日目(8月8日)17:30～

参加費振込先：参加費は現金書留又は、銀行振込みでお支払いください。

※振込手数料は振込人にてご負担ください。現金書留または銀行の控えをもって、本会からの領収書に代えさせていただきます。

現金書留郵送先：〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-9-208 繊維学会事務局 宛

銀行口座： りそな銀行 目黒駅前支店 普通口座 0889579 一般社団法人 繊維学会

繊維関連施設の視察申込：繊維関連施設の視察の参加をご希望の方はHPを確認の上、繊維学会事務局へお申し込みください。

問い合わせ先：繊維学会 事務局長 野々村弘人 〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-9-208

E-mail: office@fiber.or.jp 電話 03-3441-5627 FAX 03-3441-3260

宿泊について：各自で手配願います。JR 桐生駅近郊、東武線の藪塚駅、相老駅近くにホテルがございます。早めにご予約いただきますようお願い申し上げます。

実行委員会

実行委員長：河原 豊(群馬大学)

副実行委員長：粕谷健一(群馬大学)、岩田忠久(東京大学)、保城秀樹(クラレ)、森本英行(群馬大学)

実行委員：木村良晴(京都工芸繊維大学)、鞠谷雄士(東京工業大学)、塩谷正俊(東京工業大学)、磯貝 明(東京大学)、増子富美(日本女子大学)、荻野賢司(東京農工大学)、高寺政行(信州大学)、米山 賢(群馬大学)、武野宏之(群馬大学)、橘 熊野(群馬大学)、羽倉茂樹(三菱レイヨン)、野島一博(王子ホールディングス)、仲野幸弘(花王)、樋口明久(東京都立産業技術研究センター)、新井正直(群馬県繊維試験場)、恩田紘樹(群馬県立群馬産業技術センター)

事務局：野々村弘人

平成 25 年度繊維学会秋季研究発表会

■ 研究発表会・ポスター発表参加募集および参加要領

主 催：一般社団法人 繊維学会

日 時：平成 25 年 9 月 5 日(木)～6 日(金) 2 日間

(ポスター発表は第 52 回染色化学討論会および超臨界流体国際シンポジウムと合同)

場 所：豊田工業大学

愛知県名古屋市天白区久方 2-12-1

名古屋市営桜通線地下鉄相生山駅より徒歩15分

(地下鉄野並駅からタクシーで 5 分、車での来場は
ご遠慮ください)

アクセスの詳細は下記参照

<http://www.toyota-ti.ac.jp/access/index.html>

特別講演：徳川美術館 館長・徳川黎明会

会長 徳川義崇氏「文化を守る」

愛知県絞工業組合 理事長 竹田嘉兵衛氏

「現代に生きる伝統工芸有松・鳴海絞り」

研究発表会：特定テーマと一般研究発表およびポスターを予定しています。

特定テーマ(1)「繊維構造と構造形成過程は、ここまで分かったが…」

特定テーマ(2)「ポリ乳酸と生分解性高分子：何処までが本当に分かったのか？」

特定テーマ(3)「感性計測技術の発展と今後の課題」

特定テーマ(4)「高機能繊維創製のための紡糸技術のこれまでとこれからの流れ」

一般研究発表(1)繊維・高分子固体・複合材料の構造・物性・機能(相分離、ソフトマテリアル、界面、ゲルなどを含む)

一般研究発表(2)繊維・高分子の創製(新素材合成、素材変換・化学修飾、無機素材・有機無機複合素材などを含む)

一般研究発表(3)テキスタイル・消費科学(感性、感覚、計測などを含む)

一般研究発表(4)成形・加工・紡糸(染色、機能加工、ナノファイバー、複合材料などを含む)

一般研究発表(5)天然材料・生分解性高分子・医用高分子材料(天然繊維、紙・パルプ、バイオポリマー、バイオマテリアル、再生医療用材料などを含む)

口頭発表：発表 15 分、質疑応答 4 分、交代 1 分です。

ポスター発表：発表者と参加者の活発な議論による研究交流を推進するため、ポスター発表の場を設けています。

【P1 一般部門】

平成 25 年 9 月 1 日時点で満 30 歳以上の研究者による発表

【P2 若手部門】

平成 25 年 9 月 1 日時点で満 30 歳未満の研究者による発表。若手ポスターについては、優秀発表者へポスター賞を授与いたします。

※ポスター発表のボードの大きさは幅 90cm、高さ 210cm となります。1 日目の 15 時までには貼っていただくようお願いいたします。

第 52 回染色化学討論会：

詳 細： ホームページをご覧ください。

主 催：(一社)繊維学会 染色研究委員会

日時、会場、懇親会は秋季研究発表会と同一です。

ポスター発表は染色化学討論会、超臨界流体国際シンポジウムと秋季研究発表会の合同で行います。

申込方法が秋季研究発表会とは異なります。ホームページに詳細が掲載されています。

発表プログラム：後日掲載予定

研究発表申込方法：発表申込、予稿集原稿のいずれも専用の WEB から発表 1 件毎に登録、投稿していただきます。

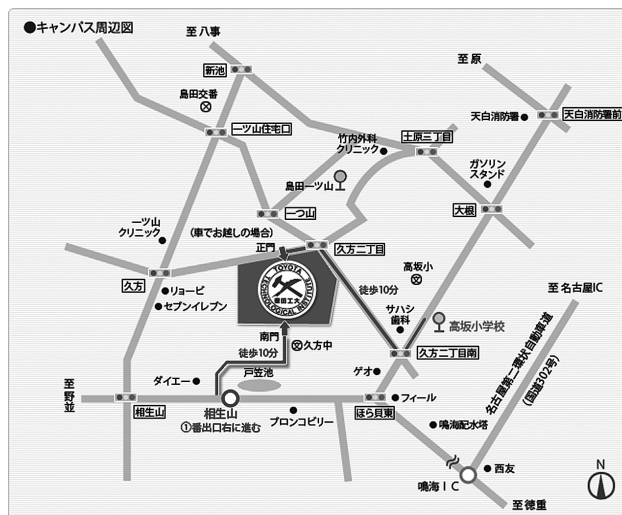
メール、FAX による受付は行いません。

予稿集原稿投稿：平成 25 年 7 月 15 日(月) 12 時～平成 25 年 8 月 4 日(日) 17 時 (投稿期限が変わりました)

(注意)締切寸前は WEB が混み合いますので、早めの申込および投稿をお勧めします。

締切期限を過ぎますと自動的に WEB が閉鎖されてしまい受け付けられなくなりますので、ご注意ください。

発表方法：口頭発表には液晶プロジェクターが準備されていますが、パソコンは発表者自身をご持参ください。



予稿原稿の書式：予稿原稿投稿は7月15日12時～8月4日17時の間に、予稿原稿投稿システムで行ってください。

PDF ファイル以外は受理できません。そのほか、書式中にある注意事項をよくお読みください。

予稿原稿送付方法：原稿をPDF ファイルにして、原稿送付ページより提出してください。

■ 参加登録の方法

参加申込：参加者は、繊維学会ホームページの秋季研究発表会参加申込用紙に必要事項をお書きいただき、WEBにて申込みをしてください。なお、参加登録は参加費入金をもって受理されますので、事前登録締切日までに下記の「送金方法」をご覧ください、ご送金ください。振込手数料は各自でご負担ください。

(注)繊維学会会員番号(個人会員、学生会員の方)および協賛学協会を必ずご記入ください。

未記入の場合には非会員扱いとなりますので、ご注意ください。

送金方法：登録者は、期限までに参加登録料を下記のいずれかの方法にてご送金ください。

(1) 現金書留：〒141-0021 東京都品川区上大崎 3-3-9-208

一般社団法人繊維学会 平成25年度繊維学会秋季研究発表会係

(2) 銀行振込：りそな銀行 目黒駅前支店 普通口座 0889579

(加入者名)一般社団法人 繊維学会

(3) 郵便振替：口座番号 00160-9-756624

(加入者名)一般社団法人 繊維学会秋季研究発表会

懇親会：9月5日(木) 18時30分より、オ・バルキーニョにて開催予定です(<http://www.barqui.com/>)。

会場は大学から歩いて10分ほどです。

参加登録料：

	繊維学会 正会員 維持・賛助会員 協賛学・協会員	非会員	繊維学会 協賛学・協会 学生会員	学生非会員
事前登録	8,000 円	15,000 円	3,000 円	6,000 円
当日登録	10,000 円	18,000 円	5,000 円	8,000 円

懇親会費：

	繊維学会 正会員 維持・賛助会員 協賛学・協会員	非会員	繊維学会 協賛学・協会 学生会員	学生非会員
事前登録	7,000 円	7,000 円	3,000 円	3,000 円
当日登録	8,000 円	8,000 円	4,000 円	4,000 円

(注) 1. 参加登録料には、学会予稿集1冊が含まれます。

2. 予稿集の事前送付はいたしませんので御了承ください。

3. 懇親会のみに参加される方は、懇親会費のみを御送金ください。

4. 研究発表会、ポスター発表および懇親会への参加は、全員事前登録を原則とします。

5. 事前登録締切後は、すべて当日登録となりますので、ご注意ください。当日登録は会場の受付に直接お越しください。

お問い合わせ先：本研究発表会に関して、ご不明な点がございましたら次のアドレスまでメールでお問い合わせください。

(豊田工業大学 田代孝二：ktashiro\$toyota-ti.ac.jp)

(連絡する時は\$を@にかえてください)

その他：不測の事態が生じた場合は、WEB上で告知することをご承知おきください。

ご不明の点は、学会事務局(TEL:03-3441-5627 FAX:03-3441-3260 メール:office@fiber.or.jp)にお問い合わせください。

■ 重要な締切日時

原稿送付期限：要旨原稿送付締切：2013年8月4日(日)

参加登録期限：事前参加登録申込締切：2013年8月4日(日)

■ 平成25年度繊維学会秋季研究発表会実行委員会

実行委員長：田代孝二(豊田工大)

副実行委員長：澤渡千枝(静岡大)、田坂 茂(静岡大)、土田 亮(岐阜大)

実行委員：青山忠幸(東邦テナックス)、浅田光則(クラレ)、猪股克弘(名工大)、太田幸一(あいち産科研三河センター)、岡本正巳(豊田工大)、奥村和之(岐阜産技センター)、木村 浩(岐阜大)、高橋朋子(旭化成せんい)、武野明義(岐阜大)、田原大輔(豊田工大)、仲井朝美(岐阜大)、長坂俊夫(三菱レイヨン)、永田謙二(名工大)、野々村弘人(繊維学会事務局)、長谷寛之(ポリプラスチックス)、増田智恵(三重大)、松田靖弘(静岡大)、村瀬浩貴(東洋紡)、山元博子(豊田工大)、吉岡太陽(豊田工大)、吉水広明(名工大)

第 36 回 CPD(共通課題)講演会

主 催：日本技術士近畿本部 繊維部会
日 時：平成 25 年 7 月 26 日(金) 13:30~16:30
場 所：大阪産業創造館 5 階 研修室 A
大阪市中央区本町 1-4-5

プログラム：

- (1) テクノロジーイノベーションを生み出す 3M 社の企業風土 住友スリーエム 佐々木 信
- (2) 生産性、収益性、そして「社格：企業経営成熟度」向上経営 Productivity Partner Inc. 坂本重泰

問合せ先：日本繊維技術士センター(JTCC)事務所
〒564-0062 大阪府吹田市垂水町 3-7-18(P&M ビル)
FAX: 06-6339-0337 E-mail: jtcc@nifty.com

プログラム

9 月 19 日(木)
10:00~13:00 放射光 X 線小角散乱の基礎と産業での応用例 北九大国際環境工 櫻井和朗
14:00~17:00 エラストマーの構造と物性 長崎大院工 小椎尾 謙

9 月 20 日(金)

9:00~12:00 分散系のレオロジー 九大院農 巽 大輔
13:00~16:00 高分子固体の粘弾性 九大院工 田中敬二

参加費：一般 10,000 円 学生 2,000 円

申込み・問い合わせ先：

〒812-8581 九州大学大学院農学研究院 巽 大輔
TEL&FAX: 092-642-2998
E-mail: tatsumid@agr.kyushu-u.ac.jp

2013 公開技術講演会

主 催：日本繊維技術士センター(JTCC)東海支部
日 時：平成 25 年 9 月 7 日(土) 13:20~16:40
場 所：愛知県産業労働センター(ウインクあいち)9F 会議室 907 号
名古屋市市中村区名駅 4-4-38 TEL: 052-571-6131

プログラム：

- (1) 「機能性繊維の現状と動向」 日本繊維技術士センター 加藤哲也
- (2) 「現在注目されている繊維の機能加工法」 福井大学 産官学連携本部 堀 照夫

問合せ先：日本繊維技術士センター(JTCC)東海支部
〒460-0011 名古屋市中区大須 1-35-18
一光大須ビル 7F FAX: 052-204-1469
E-mail: teijiro-nisimura@unitika.co.jp

プラスチック成形加工学会 第 137 回講演会

— 樹脂系材料による自動車軽量化の最新動向 —

主 催：プラスチック成形加工学会
日 時：平成 25 年 9 月 20 日(金)
場 所：工学院大学 新宿キャンパス 3 階アーバンテックホール
〒163-8677 新宿区西新宿 1-24-2

プログラム：

自動車における軽量化技術の現状と展望 トヨタ自動車 景山祐史
自動車用プラスチック材料の開発状況と今後の展開 三菱化学 藤田祐二
自動車における植物由来および天然繊維強化樹脂の現状 名古屋大学 NCC 長岡 猛
自動車樹脂グレージングの開発とその課題
三菱エンジニアリングプラスチック 今泉洋行
自動車部品の軽量化に向けた多機能複合成形システム 宇部興産機械 岡本昭男
(仮)炭素繊維加工技術の現状と最新動向 金沢工業大学 鶴沢 潔

第 4 回基礎先端高分子・繊維研究会

繊維学会西部支部と高分子学会九州支部との共催で、繊維科学および高分子化学の基礎を学び直し、最先端研究の理解を深める目的で開催しています。今回は第 4 弾として、4 名の講師をお招きし、繊維材料の構造および物性について「応用に直結する基礎」を解説して頂きます。もう一度、基礎から繊維材料を理解し、最先端研究へとつながる理解を得る貴重な機会です。皆さまの参加をお待ち申し上げます。

主 催：繊維学会西部支部・高分子学会九州支部
日 時：平成 25 年 9 月 19 日(木)~20 日(金)
場 所：九州大学箱崎キャンパス 農学部 5 号館 117 教室
<http://www.kyushu-u.ac.jp/access/index.php>

第 15 回成形加工テキストセミナー — 最先端プラスチック成形加工シリーズ 第 4 巻先端成形加工技術 I —

主 催：プラスチック成形加工学会
日 時：平成 25 年 9 月 3 日(火)
場 所：工学院大学 新宿キャンパス 28F 第 1、2 会議室
〒163-8677 新宿区西新宿 1-24-2

プログラム：

混合混練の最新技術 神戸製鋼所 黒田好則
射出成形の技術動向 NTPPLab 館山弘文
押出成形の技術動向 東芝機械 小林昭美
ブロー成形の動向

東洋製罐グループホールディングス 山田俊樹
スタンピング成形技術の動向と応用展開

クオドラント・プラスチック・コンポジット・ジャパン 吉田智晃
複合の技術動向 トヨタ紡織 小山 弘

問合せ先：一般社団法人プラスチック成形加工学会 事務局
〒141-0032 東京都品川区大崎 5-8-5
グリーンプラザ五反田 第 2 205
TEL：03-5436-3822 FAX：03-3779-9698

日本材料学会

第 38 回複合材料シンポジウム

主 催：日本複合材料学会

日 時：平成 25 年 9 月 24 日(火)～26 日(木)

25 日(木)は 第 9 回日韓共同シンポジウム

場 所：鹿児島大学 工学部 共通棟

〒890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元 1-21-40

講演テーマ：材料、力学特性、応用解析、物性および機能、
環境特性、試験および評価法、加工および成形法、最適構造設計、コストパフォーマンス、
LCA、スマートコンポジット、グリーンコンポジット、ナノコンポジット、その他

問合せ先：鹿児島大学大学院理工学研究科機械工学専攻
中村祐三

TEL：099-285-8262

E-mail：nakamura@mech.kagoshima-u.ac.jp

第 10 回アジア・太平洋キッチン&キトサン シンポジウム

第 27 回キッチン・キトサンシンポジウム(併催)

主 催：日本キッチンキトサン学会

日 時：平成 25 年 10 月 4 日(金)～8 日(火)

場 所：米子コンベンションセンター

(鳥取県米子市末広町 294)

プログラム：英語による口頭発表およびポスター発表
総会、エキスカッション、企業展示

問合せ先：(株)プロコムインターナショナル

〒135-0063 東京都江東区有明 3-6-11

TEL：03-5520-8821

E-mail：apccs@procomu.jp

第 63 回ネットワークポリマー講演討論会

主 催：合成樹脂工業協会

日 時：平成 25 年 10 月 21 日(月)、22 日(火)、23 日(水)

場 所：千葉大学 けやき館

〒263-8522 千葉市稲毛区弥生 1-33 千葉大学西
千葉キャンパス構内

問合せ先：合成樹脂工業協会 ネットワークポリマー講演
討論会事務局

〒101-0044 東京都千代田区鍛冶町 1-10-4

丸石ビルディング 6F TEL：03-5298-8003

E-mail：networkpolymer@jtpia.jp

第 52 回機能紙研究発表会・講演会

主 催：特定非営利活動法人機能紙研究会

日 時：平成 25 年 10 月 24 日(木) 9:20～17:30

場 所：徳島県郷土文化会館(あわぎんホール) 大会議室、
会議室 2

プログラム：特別講演 2 件、一般講演 8 件程度

ポスター研究発表及び新製品展示会

交流会 平成 25 年 10 月 24 日(木) 18:00～

見学会 平成 25 年 10 月 25 日(金)

8:30～16:30(予定)

問合せ先：〒799-0101 愛媛県四国中央市川之江町 4084-1
特定非営利活動法人機能紙研究会

事務局(担当：森川・紀伊)

TEL：0896-58-2055

E-mail kinoushi@e-kami.or.jp

http://www.e-kami.or.jp/HP/kinoushi/

平成 25 年度工学教育連合講演会 — 工学士に期待される学士力とその養成 —

主 催：日本工学教育協会

日 時：平成 25 年 10 月 25 日(金) 13:00～18:00

場 所：芝浦工業大学芝浦校舎 8 階 802 教室

(港区芝浦 3-9-14)

プログラム：

特別講演

1. 「学士力について(仮)」 文部科学省 依頼中
2. 「社会人基礎力について(仮)」

経済産業省経済産業政策局参事官

産業人材政策担当 奈須野 太

事例発表

1. 日本鉄鋼協会「日本鉄鋼協会における学生人材育成
への取り組みについて(仮)」

日本鉄鋼協会 小島 彰

2. 日本化学会「化学分野における産学連携人材育成の現状と課題(仮)」 大阪大学 宇山 浩
3. 情報処理学会「工学士に必要なデザイン能力を育成するためのプログラミング教育」 相愛大学 大岩 元
4. 電気学会「日立が期待する人材像(仮)」 日立製作所 鈴木啓司
5. 日本工学教育協会「効果的な人間力育成教育の枠組みとその実施法(仮)」 日本工学教育協会 工藤一彦

問合せ先：工学教育連合講演会事務局
〒108-0014 東京都港区芝 5-26-20
建築会館 4 階(担当 川上)
TEL: 03-5442-1021
URL: <https://www.jsee.or.jp/>
E-mail: kawakami@jsee.or.jp

第 49 回熱測定討論会

主 催：日本熱測定学会
日 時：平成 25 年 10 月 31 日(木)～11 月 2 日(土)
場 所：千葉工業大学津田沼キャンパス
(〒275-0016 千葉県習志野市津田沼 2-17-1)
詳細は討論会 HP の URL: <http://www.lab.toho-u.ac.jp/phar/jccta49/> をご参照ください。
問合せ先：日本熱測定学会 事務局
〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-6-7
宮沢ビル 601(事務局 土田)
TEL: 03-5821-7120
E-mail: netsu@mbd.nifty.com

膜シンポジウム 2013 — 膜科学の更なる発展：生命科学進歩に 果たす膜科学の重要性 —

主 催：日本膜学会
日 時：平成 25 年 11 月 7 日(木)、8 日(金)
場 所：京都府立医科大学附属図書館ホール
〒602-8566 京都市上京区河原町通広小路西入る
内 容：特別講演/研究発表
問合せ先：日本膜学会事務局 担当：木下
〒113-0033 東京都文京区本郷 5-26-5-702
TEL: 03-3815-2818
E-mail: membrane@mua.biglobe.ne.jp

第 45 回洗浄に関するシンポジウム

主 催：日本油化学会 洗浄・洗剤部会

日 時：平成 25 年 11 月 11 日(月)、12 日(火)
場 所：タワーホール船堀 5 階小ホール
(東京都江戸川区船堀 4-1-1 TEL: 03-5676-2211)
プログラム：
特集「高機能化剤の洗浄分野への応用(仮)」
一般講演およびオリジナルレポート
問合せ先：ライオン(株)機能素材研究所 兵藤 亮
〒132-0035 東京都江戸川区平井 7-2-1
FAX: 03-3616-5376
E-mail: sennjou45@iml.chem.kit.ac.jp

第 34 回日本熱物性シンポジウム

主 催：日本熱物性学会
日 時：平成 25 年 11 月 20 日(水)～22 日(金)
場 所：富山県民会館
詳細は下記ホームページをご参照ください。
<http://www.jstp2013.w3.kanazawa-u.ac.jp>
問合せ先：第 34 回日本物性シンポジウム実行委員会
〒930-8555 富山市五福 3190
富山大学工学部機械知能システム工学科
(平澤良男)
TEL: 076-445-6783
E-mail: jstp2013@ml.kanazawa-u.ac.jp

信州大学准教授公募

募集要項

1. 職名・人数 准教授・1 名
2. 所 属 信州大学繊維学部繊維・感性工学系に属し、主として先進繊維工学課程を担当する。
3. 研究分野 繊維工学(繊維および繊維集合体の製造と計測評価)に関する研究分野。
繊維製品に関する知識も有すること。
4. 教育担当 1 年次教育/高年次教育/大学院教育
5. 応募資格 博士の学位を有し、学部、大学院修士課程及び博士課程の運営と教育研究指導ができること。
6. 任用予定日 平成 26 年 4 月 1 日
7. 応募締切 平成 25 年 9 月 30 日(月)必着
8. 問合せ先 信州大学繊維学部 繊維・感性工学系
先進繊維工学課程 大越 豊
TEL: 0268-21-5364
E-mail: yokoshi@shinshu-u.ac.jp
詳細はホームページを参照ください。
<http://www.shinshu-u.ac.jp/faculty/textiles/>

平成 25 年度繊維学会支部

(平成 25 年 6 月 12 日現在)

支 部 名	支部長名	所 在 地	TEL & E-mail
東北・北海道支部	正田晋一郎	〒980-8579 仙台市青葉区荒巻字青葉 6-6-11-514 東北大学大学院 工学研究科	022-795-7230 shoda@poly.che.tohoku.ac.jp
関 東 支 部	西松 豊典	〒386-8567 長野県上田市常田 3-15-1 信州大学 繊維学部	0268-21-5379 toyo@shinshu-u.ac.jp
東 海 支 部	田代 孝二	〒468-8511 名古屋市天白区久方 2-12-1 豊田工業大学大学院 工学研究科	052-809-1790 ktashiro@toyota-ti.ac.jp
北 陸 支 部	宮崎 孝司	〒910-8507 福井市文京 3-9-1 福井大学大学院 工学研究科	0776-27-9993 k-miyaza@u-fukui.ac.jp
関 西 支 部	辻井 敬亘	〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄 京都大学 化学研究所	0774-38-3162 tsujii@scl.kyoto-u.ac.jp
西 部 支 部	比嘉 充	〒755-8611 山口県宇部市常盤台 2-16-1 山口大学大学院 理工学研究科	0836-85-9203 mhiga@yamaguchi-u.ac.jp

一般社団法人 繊維学会研究委員会一覧

(平成 25 年 6 月 12 日現在)

研究委員会名	研究委員長名	〒	所 在 地	電 話
繊維基礎科学研究委員会	櫻井 伸一	606-8585	京都市左京区松ヶ崎御所海道町 京都工芸繊維大学大学院 工芸科学研究科	075-724-7864
染色研究委員会	濱田 州博	386-8567	長野県上田市常田 3-15-1 信州大学 繊維学部	0268-21-5411
繊維加工研究委員会	増子 富美	112-8681	東京都文京区目白台 2-8-1 日本女子大学 家政学部	03-5981-3481
感覚と計測研究委員会	西松 豊典	386-8567	長野県上田市常田 3-15-1 信州大学 繊維学部	0268-21-5379
被服科学研究委員会	城島栄一郎	191-8510	東京都日野市大坂上 4-1-1 実践女子大学 生活科学部	042-585-8897
紙・パルプ研究委員会	江前 敏晴	305-8572	茨城県つくば市天王台 1-1-1 筑波大学 環境材料科学研究室	029-853-4646
オプティックスとエレクトロニクス有機材料研究委員会	小池 康博	223-8522	横浜市港北区日吉 3-14-1 慶應義塾大学 理工学部	045-566-1598
先端繊維素材研究委員会	村瀬 浩貴	520-0292	滋賀県大津市堅田 2-1-1 東洋紡株式会社 総合研究所	077-571-0035
研究委員会「感性研究フォーラム」	徳山 孝子	657-0015	神戸市灘区篠原伯母野山町 1-2-1 神戸松蔭女子学院大学 ファッション・ハウジングデザイン学科	078-882-8789
超臨界流体研究委員会	奥林 里子	606-8585	京都市左京区松ヶ崎御所海道町 京都工芸繊維大学大学院 工芸科学研究科	075-724-7367
ナノファイバー技術戦略研究委員会	松本 英俊	152-8552	東京都目黒区大岡山 2-12-1-S8-27 東京工業大学大学院 理工学研究科	03-5734-3640
繊維若手研究委員会	宝田 亘	152-8552	東京都目黒区大岡山 2-12-1-S8-32 東京工業大学大学院 理工学研究科	03-5734-3658